

コロナウィルス対応関連情報

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言はようやく解除となりましたが、再拡大を起こさせないためにもまだまだ慎重な行動が求められる状況が続きます。在宅勤務や交代制などで滞っていた業務も少し元に戻りつつあると思いますが、まだしばらく時間が掛かることでしょうか。さて、ニュースレターですが、通常はセミナーなどイベント開催の報告や告知がメインとなりますが、ここ数か月はあらゆるものが中止または延期となっており、先々の見通しもまだ立っていないことがほとんどです。今号も先月に引き続きウェブサイトや新聞などからコロナウィルス対応に関連する記事をピックアップし、皆様にご紹介いたします。

「コロナ対策 女性リーダー牽引」

これは4月24日付の産経新聞国際面から拝借したタイトルで、今回のコロナ禍で、女性リーダーが率いる国々で感染防止対策がうまくいっていることを取り上げたものです。ウェブで関連記事を探してみると、Forbes Japanが「新型コロナウイルス特集」の中で4月16日と5月12日の2回にわたり掲載しています。

ドイツ・メルケル首相（写真左）、台湾・蔡英文総統（同右）ら、世界の中で女性を国家のリーダーとしている国では、感染拡大の初期段階での対応が非常に早く、それぞれ手法は異なるものの結果的に感染者数や死者数を低く抑えられている。その要因のひとつが独特のリーダーシップにあるのではないかとしています。これらの記事の中で特に印象に残ったことは、女性リーダーたちが自分たちが「専門外」であることを十分に自覚している点です。つまり、見栄を張って「知ったかぶり」などせず、対策案は感染症の専門家に任せ素直にそれに従う。加えて、いったんこうと決めたら素早く行動に移す。これらのことが功を奏しているように思います。

もうひとつ、今回こうした国家を率いる女性達が力強くリーダーシップを発揮できた背景には、それぞれの国民から絶大な信頼を得ていたことも大きいのではないのでしょうか。この点についても、今後我々がそれぞれの立場でダイバーシティを推進していく上で、一つ参考になるのではないかと思います。

<https://forbesjapan.com/articles/detail/33831> <https://forbesjapan.com/articles/detail/34400>



森林総研（つくば）5月22日撮影

感染拡大状況下における「差別」

差別についてはテレビや新聞などのニュースでたびたび目に耳にしている方も多いのではないのでしょうか。日本赤十字社のサイトでは「差別も感染症の一つ」として明確に模式図で示しています。すなわち、未知のウィルスに対する不安や恐れから偏見や差別を生んでしまう。これは、人は偏見や差別によって「つかの間の安心感」を得るからなのだそうです。しかしながら、これが結果的としてウィルス拡散を招くことになり、いわゆる「負のスパイラル」に陥る可能性を指摘しています。そうならないために、手洗いなど物理的な予防はもちろんですが、不安や恐れに振り回されないよう自分自身を見つめ直すことが重要なポイントだとしています。詳細については下記のサイトにpdfがありますので是非参考にしてください。

http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

LGBTの人たちの不安や悩み

NHKのニュースサイトに、この新型コロナウイルス感染拡大の状況において、LGBTの人たちが感じている不安や悩みに関する記事がありました。感染者のパートナーが家族とみなされない、感染経路の調査で自身の性的指向が明らかになってしまうなどへの不安や悩みが広がっていることが報告されています。人権やプライバシーの保護が十分ではなく、性的マイノリティーへの差別や偏見を助長しない配慮が必要との指摘もありました。今回のような緊急事態ではこうしたところにもシワ寄せが行ってしまうことを、我々も常日頃から気に掛けておくべきではないでしょうか。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200517/k10012433931000.html>

令和2年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

毎年6月23～29日は男女共同参画週間です。皆様の職場でも展示など様々な企画をお考えのことと思います。今年のキャッチフレーズは以下のとおりです。

「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。」 「ワクワク・ライフ・バランス」

なお、ポスターは内閣府男女共同参画局のサイトからダウンロードできます。

DSO事務局からのお知らせ

ニュースレター No.108 (3月31日発行) でお知らせのとおり、3月末の森林機構理事退任に伴い、現在DSO会長が空席となっております。昨年9月の総会での取り決めに従い、当面は事務局(森林機構)の委嘱幹事が会長職を代行し、臨時総会の開催により新会長を選出することとしております。目下、その臨時総会を各参加機関担当部署とのメールのやり取りをベースとして開催中で、6月初めには新会長が決定する予定となっております。決定次第、再びメール等にてご報告いたしますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

ニュースレターへの記事をご投稿ください!

「DSO Newsletter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして原則毎月最終週に発行しております。掲載を希望する記事がありましたら、数行の記事でも結構ですのでぜひお寄せください。

- ・シンポジウムやセミナー、講演会など、イベントのお知らせ
- ・最近行なわれたイベント報告、あるいは参加報告
- ・最近取組中のこと
- ・その他、お役立ちや関連情報

宛先：dso-secretary@ffpri.affrc.go.jp

参加機関内外への当Newsletterの紹介も歓迎いたします。
バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)は、研究教育20機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画などダイバーシティに関わる活動を連携して推進しています。主な活動の一つとして、参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行なっています。当初は科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林研究・整備機構、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学、量子科学技術研究開発機構、建築研究所(加入順)